



思いやりの心を広げよう！

～第1回ひびきあい集会での学級宣言～

校長 館林 美和

これは、神坂小学校の玄関前で咲いているバラです。「アンネのバラ」と言い『アンネの日記』の著者であるアンネ・フランクを偲んでベルギーの園芸家が作ったバラです。蕾の頃は赤、咲き進めるとオレンジからピンク、黄色へと花の色が変化する特徴のある花です。アンネのバラは、平和教育の一環として全国の学校等に贈られて広がりしました。神坂小学校の玄関前では、5月頃からひっそりと咲き続けています。(とても美しく、そして伸びやかに咲いていたので、落合小学校に少し飾ってみました。)

みなさんもお存じのとおり、アンネ・フランクは第二次世界大戦中、ユダヤ人の迫害に遭い、2年もの間屋根裏部屋での隠れた生活を強いられ、その後強制収容所で15歳の短い生涯を終えました。過酷な生活や迫害という酷い側面を目の当たりにしながらも、最後まで人間を信じようと思いました。「いろいろなことがあっても、私は今でも、人間の本质はきっと善なのだと思っています」という言葉は有名な言葉の一つです。周りの人々の善意に感謝し、生きることへの希望をもち続け、そして誰もが幸せになる平和を願った言葉は、『アンネの日記』をとおり私たちの心に響いています。

落合小学校では、5月に第1回ひびきあい集会を行いました。全校で人権について考えたり行動したりする活動です。事前に、それぞれの学級で思いやりの心や行動を培っていくための宣言を考え、第1回の集会ではそれを発表しました。

【私たちのひびきあい宣言】

ひまわり・たんぽぽ学級…みんなで「いいこと見つけ」をしていきます。

1年生…言ってうれしい・言われてうれしい言葉を見つけて、星(いいこと見つけカード)をいっぱいにする。

2年生…ほかほか言葉を言うこと・ほかほか言葉を広げる。ありがとうの気持ちを伝える。いいね見つけをする。

3年生…みんなのいいところを見つけてきらきらカードをいっぱいにする。

名前を呼びすてにしない。学級目標や毎日の目当てを協力して達成できるようにする。

4年生…おはよう！ドンマイ！ありがとう！の言葉を大切に。学級目標に向かうよい姿を見つける。

5年生…いいね！ありがとう！がんばれ！のほかほか言葉を伝え合おう。相手を思って行動しよう。

6年生…名前を大事にする。チクチク言葉や行動をなくす。にこにこ行動を増やし、にこにこ言葉を自然につかえるようにする。学級目標を大事にし、毎日の目当てを立て、振り返る。



どの学級も「こんな仲間になりたい」という願いのもと、みんなの心が温かくなり、勇気をもって、うれしくなるような言葉を発して行動ができるように取組を明確にしました。全校の前で堂々と発表する児童の姿から、決意の気持ちも感じられました。

ひびきあい集会から約1か月が過ぎようとしている今、まだまだつい呼び捨てをしてしまったり、意地悪をして相手に悲しい思いをさせてしまったりする行動は見受けられます。自分の都合や感情だけで行動してしま

う自分中心の世界から、視野を順に広げ、周りの仲間と気持ちよく関われる術を取組を通して培ってほしいと願います。いろいろな人がいることが学校のよさでもあります。たくさんの人と関わり、その中で自分がどんな行動ができるのか試して、試して…そして「思いやりの心をもつ自分」を創ってほしいと思います。『誰もが大切にされ、幸せになる学級・学校』を目指します。



人権擁護委員の上田さよ様より、「人権」についてお話をいただきました。